ツールづくり研修を開催
6団体が7つのツールを作成

7月27日（土）、28日（日）に、TEAMMATEひろしま学習・交流会（第1回）「ツールづくり」を開催し、6団体13人が参加しました。TEAMや推進員が、学習会や普及啓発で活用する「ツール」を参加者自ら企画製作し、一泊二日で7つのツールを完成させました。

そのうち、3つのツールと製作団体をご紹介します。ツールは貸出グッズとして整備していますので、皆さまの地域でもご活用ください。

ツール作製の様子

①福山北部脱温暖化地域協議会「エネロスをさがせ」

日常の1コマを漫画風に描いたもの（**左上図**）で、絵の中からエネルギーのロスを探し出すツールです。学習会のアイスブレイクとして活用すると、参加者が発言しやすくなり、省エネ活動の意識付けにつながります。

②脱温暖化福山中央地域協議会「防災かるた　あぶにゃーで広島県」

防災をテーマにしたカルタで、自助・共助・公助によって色分けをしています。カルタの裏には解説が記載されており、自分自身の安全を守る取り組みの「自助」をしっかり理解できるようにしています。取り札・読み札が各104枚あるので、時間や人数によって調整が可能です。

③くれ環境市民の会「環ちゃんと省太ちゃんのもったいない！食品ロスの話」

環ちゃんと省太ちゃんがお使いに行く様子を通して、食品ロスについて学ぶことができます。プロジェクターで投影できるデータファイルと、紙芝居の2種類あります。

9月25日に、府中町立府中小学校4年生を対象とした環境学習会「食品ロスを考えよう」で活用し、大変好評でした。

（脱温暖化センターひろしま）

参加団体と作成教材の一覧

参加団体名	作成教材
広島市地球温暖化対策地域協議会	・コンポストのひみつ
くれ環境市民の会	・環ちゃんと省太ちゃんのもったいない!食品ロスの話
布野の食と脱温暖化を考える会	・山野草を食べよう!　～これ食べられる?春編～
福山北部脱温暖化地域協議会	・エネロスをさがせ
門田地球温暖化対策協議会	・エコチャレンジ　子ども学習会 ・環境マークかるた
脱温暖化福山中央地域協議会	・防災かるた　あぶにゃーで広島県

専門研修

「防災・減災コース（簡易トイレ編）」開催
夏季大学の内容をより深く

9月5日（木）、6日（金）に、令和6年度専門研修「防災・減災コース（簡易トイレ編）」を開催し、7公衛協から21人が参加しました。本研修は、7月18日、19日に開催された夏季大学で行われた分科会を、より深めた内容で実施しました。

まず始めに、（特非）ひろしまNPOセンター増田勇希理事より、『能登半島地震から見えてきた水・トイレの課題』と題してご講演いただきました。夏季大学の内容に加え、広島県の液状化の危険度や水道管の耐震性、また、避難所に実際に設置された簡易トイレの事例などについて、写真を交えて紹介されました。

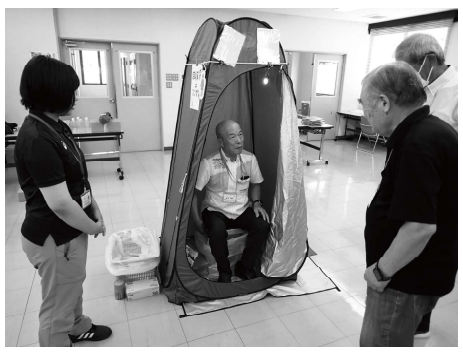
体験学習では、凝固剤の使用体験や簡易トイレの設置体験を行いました。凝固剤の使用体験では、凝固剤の消臭効果の検証のため、香りをつけた色水に使用したところ、においが軽減されることが確認できました。ただし、袋の壁面などに飛散していると凝固剤がかからず、においが残ってしまうことが分かりました。

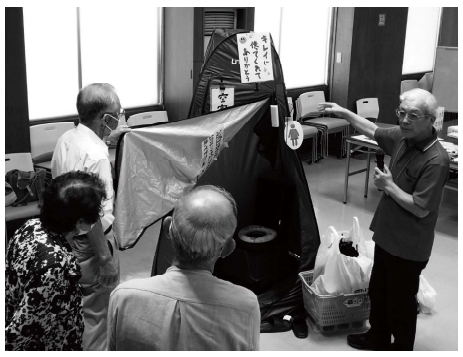
簡易トイレの設置では、テントと簡易トイレのセットを組み立てていく中で、「テントが狭いと、窮屈に感じて落ち着かない」「高齢者にとって、座る、立つという動作が負担にならないよう、手すりの設置などの工夫が必要」「防犯対策も考えなければならない」など、さまざまな視点でより深い意見交流が活発に行われました。

また、参加者からは「まずは我が家で簡易トイレの備えをしたい」「イベントなどで簡易トイレの使用体験を実施し、地域に広げていきたい」などの感想をいただきました。

令和6年度は、1月16日、17日に水と非常食をテーマとした専門研修「防災・減災コース」を開催する予定です。ぜひご参加ください。

（地域活動支援センター）





簡易トイレに必要なものを考える参加者（上）、作成した簡易トイレを発表、意見交流を行った（下）

子ども服の譲渡会（カインズ広島LECT店）開催
着まわしでCO₂削減

10月5日（土）に、ゼンドラ株式会社、カインズ広島LECT店と協働で、子ども服の譲渡会を開催しました。当日は譲渡会のブースに500人以上が来場され、多くの人でにぎわいました。

子ども服の譲渡会は、子どもの成長に伴い、着られなくなった子ども服を、必要とされている方に無料でお譲りするイベントです。傷や汚れのないもので、ご家庭で洗濯済みの子ども服を対象として回収し、譲渡しました。

今回の譲渡会で譲渡した服の数は753枚で、CO_2削減効果は9,601kg-CO_2（※）でした。

譲渡会に参加された方からは、「保育園で服の枚数が必要なため、大変助かります」「とてもいい企画だと思います。また是非やって欲しい」「着なくなった服を持って来たい」などの声がありました。

国内で手放された服（おとな、こども合わせた全体衣類）は、その66%が焼却・埋立処分されており、その数は年間約45万トン、1日当たり1,200トンにも及びます。

今ある服を長く着ることや、みんなで着まわすことはCO_2削減につながる、環境にやさしい取り組みです。

大切な資源が循環する暮らしを皆さんと一緒に作っていきましょう。

（脱温暖化センターひろしま）

子ども服譲渡会会場の様子

※環境省ホームページ「サスティナブルファッション」に示されている、服1着当たり生産の際に排出されるCO_2排出量25.5kgを算出根拠とし、今回の対象は子ども服のため、排出量を25.5kgの半分の12.75kgとして算出しました。